

30日機輪通投第149号

平成30年9月5日

組員各位

日本機械輸出組合
専務理事 倉持 治彦

「カナダ、メキシコから見た NAFTA 再交渉と米国通商政策～日本企業の課題」
に関するセミナー開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、当組合では、ホワイト&ケース LLP メキシコシティオフィス パートナーの Francisco de Rosenzweig 氏および Borden Ladner Gervais LLP パートナーの Matthew Kronby 氏をお招きして、「カナダ、メキシコから見た NAFTA 再交渉と米国通商政策～日本企業の課題」に関するセミナーを開催いたします。

NAFTA 再交渉については、8月27日、米国・メキシコ2国間にて、自動車の原産地認定付加価値基準を現行の62.5%から75%に引き上げること等を含め、仮の原則合意に達したとの発表がありました。NAFTA 再交渉は、カナダを含めた交渉段階に入っていますが、今回のセミナーでは、メキシコ、カナダの交渉担当官として NAFTA 再交渉、TPP/TPP 11 交渉に携わったお二人の講師より可能な範囲での NAFTA 再交渉原則合意の内容、これら交渉における経験の共有、および米国通商拡大法 232 条、米国通商法 301 条関係の貿易障壁の実際について、ご報告をいただく予定です。

各位におかれましては、万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

記

●日 時：平成30年9月21日（金）14：00～15：30（開場13：30）

●場 所：ホワイト&ケース LLP コンファレンスルーム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3

丸の内トラストタワー本館26階

<https://www.whitecase.com/sites/whitecase/files/files/download/locations/tokyo-office-access-map.pdf>

●プログラム（英日同時通訳付き）：

「カナダ、メキシコから見た NAFTA 再交渉と米国通商政策～日本企業の課題」

- ・ NAFTA 概観、NAFTA 域内貿易および NAFTA 加盟国と日本との貿易取引の総括
- ・ トランプ政権による現行 NAFTA 修正事項

- ・ カナダ、メキシコから見た NAFTA 再交渉と TPP
- ・ NAFTA 再交渉の行方と日本企業への影響
- ・ 米国の一方的貿易措置（通商拡大法 232 条、通商法 301 条）への対応
- ・ 日本企業にとってのリスク及び好機などの課題

●講 師： Borden Ladner Gervais LLP

パートナー Matthew Kronby 氏
ホワイト&ケース LLP
メキシコシティオフィス パートナー Francisco de Rosenzweig 氏
東京オフィス カウンセル William Moran 氏

●参加費：無料（組合員限定）

●定 員：80名

●お申込方法：セミナー参加ご希望の方は、9月18日（火）までに当組合ホームページ
(<http://www.jmcti.org/jmchomepage/seminar/index.htm#nafta>) からお申込ください。

定員になり次第、締め切りを繰り上げる場合がございます。なお、今回はホワイト&ケース
外国法事務弁護士事務所でのセミナー開催となりますので、必ず事前申し込みをお願いしま
す。申し込みをされていない場合、セキュリティの関係で会場に入ることができませんの
で、ご了解ください。

●キャンセル方法：9月20日（木）までに、下記事務局までご連絡ください。

※受講券の発行はございません。

※セミナー当日は、受付にお名刺をお渡しくださるようお願いいたします。

以上

ご不明な点がございましたら、下記事務局までご連絡下さい。

日本機械輸出組合 通商・投資グループ 和田、浅田、^{くらもと}庫元

Tel 03-3431-9348、Fax 03-3436-6455、mailto:tohshi@jmcti.or.jp